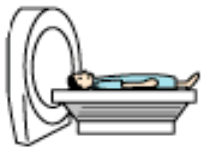


造影CT検査を受けられる患者さんへ

■ 造影CT検査とは



CT検査は、X線を使って身体の断面を撮影する検査です。

体内の様々な病巣を発見することができます。特に心臓、大動脈、気管支・肺などの胸部、肝臓、腎臓などの腹部の病変に関しては、優れた描出能が知られています。

より正確な診断と最良の治療方針を立てるために必要だと判断された場合には造影剤というお薬を用います。

造影剤を使うことで病気の状態がより鮮明に写し出すことができます。

お薬ですので副作用が起きる可能性もあります(検査終了後、不快感等体調に変化が見られた場合には、こちらの電話番号 ☎ 代表:093(281)3810 にお問い合わせ下さい)



■ 検査に対する注意点

予約表に記載された時間は“**検査開始**”時刻です。病院へは**最低30分前までにご来院ください**。

お薬を使つての検査となります。別紙の問診・同意の書類をよく読み、必要事項に記載して、検査内容のご確認と検査に対するご理解をお願い致します。



検査前食は召し上がらないようお願いします(水分可)。

食事をされると、画像が見難くなり診断に影響を及ぼす場合があります。

検査終了後はお薬を体外へ出しやすくするため、いつもより多めの水分を取りましょう。

(お医者さんから水分制限を受けていない場合)

■ 検査の流れ

1. 造影CT検査前に造影剤使用に対する確認・同意を行います。

2. 必要に応じて検査着に着替えていただきます。

(検査中にお薬によって衣服が汚れる恐れがあります)

検査部位の金属は画像に写り診断の妨げになりますのであらかじめ外しておいてください。

着替えが済みましたら、外来にて造影剤を注射するための点滴確保を行います。

3. 点滴確保が済みましたら、CT室にて検査を行います。

4. 検査中には体は動かさないようお願いします。

動かれると、画像が乱れ、診断結果に影響を及ぼす場合があります。

また、検査部位によりましては、何度か息止めの合図をする場合があります。

出来る範囲で構いませんのでご協力下さい。

息止めが困難な場合には、事前に技師に申し出てください。

5. 造影剤の注射をする際は、勢いよくお薬を体に入れますので、血管に痛みを感じることがあります。

お薬は体温程度に温めており、また、薬の作用で体が熱く感じますが、それは心配ありません。

気分が悪くなったり、点滴部の痛みが強い場合は速やかに係の者にお知らせ下さい。

迅速に適切な処置を行います。

6. 検査終了後、点滴が落ち終わるまで休んで頂きます。使用したお薬を体外へ早く出すためです。

😊 不明な点がありましたら、医師・看護師・技師にお気軽に声を掛けられてください。

